

県政調査計画書

令和6年2月6日

神奈川県議会議長

殿

会派名 かながわ未来神奈川県議会議員団

団長名 近藤 大輔

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) <u>京島 けいこ</u> (団 員) <u>近藤 大輔</u> <u>作山 ゆうすけ</u> <u>岸部 都</u> <u>石川 裕憲</u> <u>脇 礼子</u> <u>佐藤 けいすけ</u> <u>永井 真人</u> <u>小田 貴久</u> <u>吉川 さとし</u>
2 調査目的	地域交通に低速電動バスを導入し、脱炭素を推進しながら、交通課題解決に向けた取組、「保護より機会を」の理念を掲げた障害者の働き場所の確保の取組、食と料理の商品・サービス化を図り高齢者に特化した雇用の取組、少年刑務所における再犯防止の取組など、特徴ある低炭素、地域福祉、更生支援施策を調査することにより、本県における今後の施策調査の参考にする。
3 調査期間	令和6年3月27日 ～ 令和6年3月29日
4 調査地	大分県、福岡県、佐賀県
5 調査項目	(1) 大分市役所 大分市では、令和5年4月から「グリーンスローモビリティ」と呼ばれる小型の低速電動バスの走行を実施している。「グリーンスローモビリティ」の導入は、既存の公共交通機関の利用を促進させ、高齢者の積極的な社会参加につながるほか低炭素型交通の確立が期待されている。 こうした取組を調査することにより、地域の活性化や交通課題の解決の参考とする。



	<p>(2) 社会福祉法人 太陽の家 障がい者の就労支援の草分け的存在である太陽の家は、1965年の創設以来、「保護より機会を」の理念のもと企業との連携などを通じて、障がい者が働く場づくりに力を注いでいる。複数の大企業と共同出資会社を設立し、障がい者が働ける場を提供するだけでなく、敷地内にスーパーや銀行支店を置き地域交流の場を創出している。 こうした施設の取組を調査することにより、障がい者の雇用及び地域交流施策の参考とする。</p> <p>(3) うきはの宝株式会社 うきはの宝株式会社は、福岡県うきは市の過疎地域から生まれた『75歳以上のばあちゃんたちが働ける会社』で、経済活動により高齢者に生きがいと収入を創ることを目的に2019年に設立した。ばあちゃんたちの得意と特性を活かした「食」と「料理」をサービス化してネットショップで食品を販売するほか、専門誌も発行している。こうした高齢者に特化した法人の取組を調査することにより、高齢者雇用の機会創出施策の参考とする。</p> <p>(4) 佐賀少年刑務所 佐賀少年刑務所は、受刑者に職業訓練を重点的に行っている刑事施設で、全国の施設から選ばれた訓練生を受け入れている。このような総合的に職業訓練を行っている刑務所は全国に8施設のみで、そのうち少年刑務所は3施設しかない。当施設では、再犯防止には出所後の就労が重要とし、ハローワークと連携した支援も行っている。 こうした若者の再犯防止の取組を調査することにより、更生支援施策の参考とする。</p>
6 経費の概算額	1人当たりの議員旅費 … 184,870 円 内訳 交 通 費 … 141,330 円 宿 泊 費 … 33,000 円 視察研修費 … 10,180 円 雑 費 … 360 円

* 日程表を添付する。

県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関 (所要時間)	調査箇所及び調査内容
1	3月27日 (水)	大分県 大分市	午前 午後	航空機 借上バス	移動(羽田空港 → 大分空港) ■ 大分市役所 ・グリーンスローモビリティの取組について 移動(大分県大分市 → 別府市) ＜別府市内宿泊＞
2	3月28日 (木)	大分県 別府市 福岡県 うきは市	午前 午後	借上バス 借上バス	■ 社会福祉法人 太陽の家 ・障がい者雇用の取組について ■ うきはの宝株式会社 ・高齢者雇用の取組について 移動(福岡県うきは市 → 福岡市) ＜福岡市内宿泊＞
3	3月29日 (金)	佐賀県 佐賀市	午前 午後	借上バス 航空機	■ 佐賀少年刑務所 ・若者の更生支援の取組について 移動(福岡空港 → 羽田空港)

県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長)	京島	けいこ		
	(団員)	近藤	大輔	作山	ゆうすけ
		岸部	都	石川	裕憲
		脇	礼子	佐藤	けいすけ
		永井	真人	小田	貴久
		吉川	さとし		

1 要領 2 (1) の基準への適否

区分	調査の基準	計画の内容	適否
① 調査経費	議員1人当たり100万円以内	議員1人当たりの経費は184,870円であり、基準を満たしている。	適
② 調査箇所	1日につき午前及び午後それぞれ1か所以上調査実施 移動日は1か所以上調査実施	2泊3日の行程の中で、移動日は1箇所以上、それ以外の日は午前および午後それぞれ1箇所以上調査を実施する行程となっている。	適

2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
<p>① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。</p>	<p>(1) 大分市役所 大分市では、令和5年4月から「グリーンスローモビリティ」と呼ばれる小型の低速電動バスの走行を実施している。本県でも、公共交通の利用が不便な地域があり、また、「かながわ脱炭素ビジョン2050」に基づき脱炭素の取組を進めていることから、市役所の取組を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p> <p>(2) 社会福祉法人太陽の家 社会福祉法人太陽の家では、障がい者が働ける場を提供するだけでなく、地域交流の場も創出している。県内民間企業の障がい者雇用率が法定雇用率に達していない中、来年度から法定雇用率が段階的に引き上げられることから、社会福祉法人太陽の家の取組を調査することは、県政課題の一助になるものと認められる。</p> <p>(3) うきはの宝株式会社 うきはの宝株式会社は、福岡県うきは市の過疎地域から生まれた『75歳以上のばあちゃんたちが働ける会社』で、経済活動により高齢者に生きがいと収入を創ることを目的に設立した法人である。本県は、全国屈指のスピードで高齢化が進展しており、また「かながわ高齢者保健福祉計画」において高齢者の就業を支援することから、うきはの宝株式会社の取組を調査することは、県政課題の解決の一助になるものと認められる。</p> <p>(4) 佐賀少年刑務所 佐賀少年刑務所は、受刑者に職業訓練を重点的に行っている刑事施設で、全国の施設から選ばれた訓練生を受け入れている。本県でも、「神奈川県再犯防止推進計画」に基づき、罪を犯した人の再犯防止のための就労支援を行っていることから、佐賀少年刑務所の取組を調査することは、県政課題の解決の一助になるものと認められる。</p>
<p>② 調査の実施時期が時宜を得たものか。</p>	<p>今回の調査対象項目は、どれも本県の重点施策と関連したものであり、本調査により先進的な取組や事例を調査することは時期を得たものである。</p>
<p>③ 現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。</p>	<p>各分野において、今後の本県における施策の取組に活かして行くためには、現地に赴き、現地の職員から、事業内容者その成果について、具体、詳細に調査及び聴取しなければ調査目的が達成できないものである。</p>
<p>④ 調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。</p>	<p>調査箇所、行程、経費等は県政調査実施要領の基準を満たしており、妥当である。</p>